MAX®

マックス タイムレコーダ

ER-220S

取扱説明書

ご使用前に
ご使用上の注意 1～2
目次 4

操作編
① ER－220Sの特長 3
② 各部の名称とはたらき 5～6
③ 毎日の使い方 7～8

設定編
④設定の仕方 9～14
4－1 現在時刻の合わせ方
4－2 締日の設定
4－3 始業時刻の設定
4－4 終業時刻の設定
4－5 日付変更時刻の設定
4－6 西暦年月日の合わせ方

名前登録
⑤ 名前の登録方法 15～18
⑥ 名前の印字方法 19
⑦ 登録一覧リポート 20

ご使用中に
⑧インクリボンの交換方法 21～22
⑨こんな時は 23
⑩エラー一覧 23
⑪商品仕様 24
⑫保証書とアフターサービス 24
マックス拠点一覧 背表紙

●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
●この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

①ER－220Sの特長

①西暦年、月、日、時刻は設定済みですので、電源を入れるだけですぐご使用いただけます。
　但し、締日は20日に設定されておりますので、20日締め以外のお客様は締日の設定が必要です。
②名前を登録（最大10文字×20人）すると、毎月のカードに名前を（ひらがな印字）、月度を
　書く作業は機械が行います。　参照 P．15〜18　名前の登録方法
③次のような特殊な勤務についても打刻ができます。　参照 P．5　各部の名称とはたらき

●早出→早出勤務のとき、［早出/残業］ボタンを押すと、時刻の横に「ハ」と印字します。

●残業→残業勤務のとき、［早出/残業］ボタンを押すと、時刻の横に「ザ」と印字します。

●直行→直行して朝の打刻ができなかったとき、［直行/直帰］ボタンを押すと出勤欄（1欄目）に「チョッコウ」と印字します。

●直帰→直帰して帰りの打刻ができなかったとき、［直行/直帰］ボタンを押すと退勤欄（6欄目）に「チョッキ」と印字します。

●徹夜→24 時間営業のところで退勤打刻が下にずれて印字してしまうとき、［徹夜］ボタンを押すと出勤と同じ段に退勤打刻がされます。

④設置方法が次の3つから選べます。

●置いて使用　⇒そのままお使い下さい。　参照　P．7　設置の方法

●壁に掛けて使用　⇒ワンタッチで壁に掛けられます。

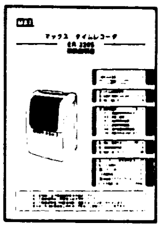
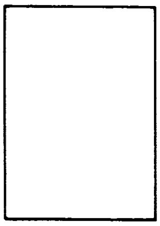
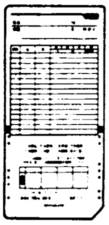
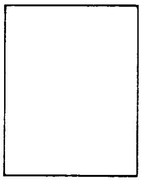
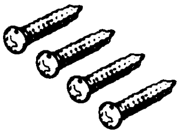
●寝かせて使用　⇒［寝かせて使う］ボタンを押すと時計表示が逆さまになり、寝かせて使う時にも時計が読めるようになります。

⑤タイムカードを入れるだけで、通常のご使用はボタン操作の必要がないタイムレコーダです。
参照 P．8　毎日の操作方法

●印字する段や印字欄は自動的に選択されます。
●出勤など打ち忘れて退勤するときはボタン操作で印字欄を指定できます。

⑥始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク（チ）・早退マーク（ソ）が自動的に印字されます。
参照 P．11、12　設定の仕方
⑦不意の停電や設定場所の移動によって電源が遮断された場合でも、内蔵のリチウム電池で工場出荷から停電累計5年間は日付、時計、設定内容などのデータを保持します。但し、停電時の印字はできません。

［付属品］　ご使用前に必ずお確かめ下さい。

取扱説明書（本書）1冊	名前登録50音シート 1枚	サンプルカード（ER－Sカード）30枚	お客様登録カード（保証書）1枚	壁掛け用ネジ 4個
				

●お手数ですが、お客様登録カードに所定事項をご記入の上ご投函ください。マックスお客様リストに登録し、アフターサービスに活用させていただきます。
●操作がわからなくなった時には再度、本書をお読みいただけますよういつでも取り出せる場所に大切に保管して下さい。

目　次

ご使用前に

ご使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
◆ご使用される前に必ずお読みください

操作編

① ER－220Sの特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
◆本機の特長となる仕様、付属品について
② 各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・・・・・ 5～6
◆各部のはたらき、操作ボタンの説明について
③ 毎日の使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～8
◆設置方法、毎日の操作方法、時計画面、タイムカードの印字例

設定編

④設定の仕方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9～14
4－1　現在時刻の合わせ方・・・・・・・・・・・・・・ 9
4－2　締日の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
◆20日締以外のところに
4－3　始業時刻の設定・・・・・・・・・・・・・・・11
◆遅刻マークを印字させたいところに
4－4　終業時刻の設定・・・・・・・・・・・・・・・12
◆早退マークを印字させたいところに
4－5　日付変更時刻の設定・・・・・・・・・・・・・13
◆夜中の3時をまたいで勤務される方がいるところに
4－6　西暦年月日の合わせ方・・・・・・・・・・・・14

名前登録編

⑤名前の登録方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・15～18
◆タイムカードに名前印字ができるようになります
◆文字コード表
⑥名前の印字方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
◆名前の印字方法と印字例
◆月度のみの印字もできます
⑦登録一覧リポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
◆名前登録を一覧でリポートできます
◆文字コード表もリポートできます

ご使用中に

⑧インクリボンの交換方法・・・・・・・・・・・・21～22
⑨こんな時は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
◆トラブルの症状とその対処方法について
⑩エラー一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
◆エラー表示の意味について
⑪商品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
◆商品仕様、消耗品について
⑫保証書とアフターサービス・・・・・・・・・・・・・24
◆保証内容、アフターサービスについて
マックス拠点一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・背表紙

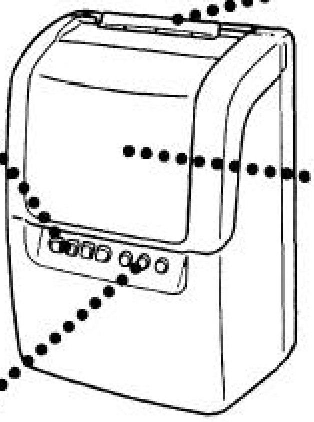
②各部の名称とはたらき

出勤、外出、再入、退勤ボタン

通常は押さなくても印字欄は自動で選択されます。
ボタンを押すとボタンが優先されます。

カード挿入口

タイムカードを挿入します。フタはホコリが入らないように印字するとき以外は閉じてください。

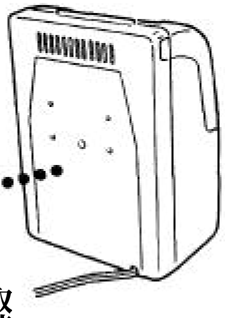


表示画面

通常は時刻、日付を表示しています。

早出/残業、直行/直帰、徹夜ボタン

該当する勤務のときにこのボタンを押します。



壁掛け用フック

壁掛けで使用する時に取り外し、フックとして使います。 P. 7

操作ボタン

出勤ボタン
第1欄以降に打刻がなければ、第1欄に打刻します。

外出ボタン
第2欄以降に打刻がなければ、第2欄に打刻します。
第2欄に打刻があり、第4欄以降に打刻がなければ、第4欄に打刻します。

再入ボタン
第3欄以降に打刻がなければ、第3欄に打刻します。
第3欄に打刻があり、第5欄以降に打刻がなければ、第5欄に打刻します。

退勤ボタン
第2欄以降に打刻がなければ、第2欄に打刻します。
第2欄に打刻があり、第6欄に打刻がなければ、第6欄に打刻します。

早出/残業ボタン
早出マーク、残業マークを時刻の後に印字します。
第1欄以降に打刻がなければ、第1欄に時刻と早出「ハ」マークを印字します。
第1欄に打刻があり、第6欄に打刻がなければ、第6欄に時刻と残業「ザ」マークを印字します。

直行/直帰ボタン
直行マーク、直帰マークを印字します。
第1欄以降に打刻がなければ、第1欄に直行「チョッコウ」マークを印字します。
第1欄に打刻があり、第6欄に打刻がなければ、第６欄に直帰「チョッキ」マークを印字します。

徹夜ボタン
設定した日付変更時刻をまたいで勤務したとき、退勤のときに徹夜ボタンを使用すると出勤と同じ段の第6欄に打刻と、徹夜「テ」マークを印字します。

メモ
既に打刻した欄より左に戻って打刻する事はできません。
自動で次の欄から打刻します。

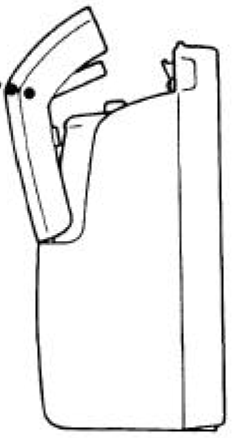
出	退	出	退	出	退
	18:00				

既に打刻があると
それより左には、もう打刻できません

②各部の名称とはたらき

フロントカバー

インクリボンの交換や設定する時にはずします。



操作ボタン

寝かせて使うボタン

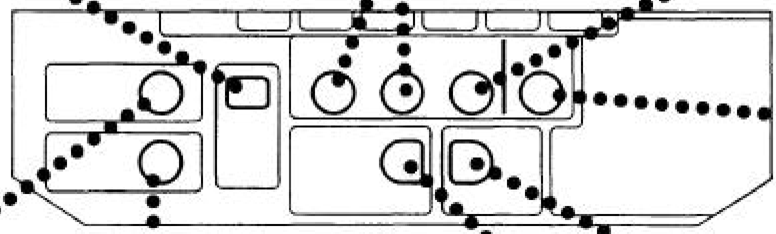
●時計表示を逆さまにします。

▲数字送り・▼数字戻し　ボタン

●点滅している数字の送り、戻しをします。
●2つ同時に押すとクリアボタンとなります。

⇒■セット　ボタン

●点滅部している数字を確定します。



時計に戻す　ボタン

●設定を終了し、時計にもどします。

>項目送り　ボタン

●設定項目を選択するときに使います。

名前登録　ボタン

●20人までの名前（1人10文字まで）を登録できます。

名前/月度印字　ボタン

●2秒間押し続けます。
●登録した名前をカードに印字します。このとき、印字したい月度の入力をします。
●月度のみの印字もできます。

設定開始　ボタン/<　項目戻し　ボタン

●設定を開始するときに約5秒押し続けます。
●設定中は、項目戻しボタンとなります。

特殊操作

名前/月度印字　ボタン ＋ **設定開始　ボタン**　同時に3秒間押し続けます。　参 照 P. 20

●登録している名前をカードに一覧印字します。
●名前登録用文字コード表の印字もできます。

設定開始　ボタン ＋ **項目送り　ボタン**　同時に5秒間押し続けます。　参 照 P. 9

●設定ロック状態になり、現在時刻・締日・始業・終業・日付変更・西暦年の設定をできなくします。
（画面左下に Ⓢ マークが点灯します。）　解除方法は同じ操作です。（ Ⓢ マークが消えます。）

③毎日の使い方

設置方法

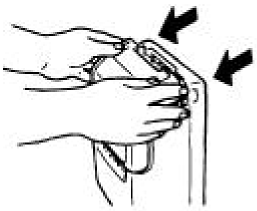
	⚠ 注意
❗	●本機は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。 ●壁に掛けて使用するときは、本機の重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。
	●壁への取り付け作業を行う際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがや故障の原因になります。

置いて使う場合

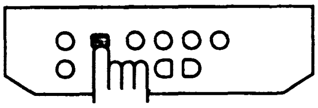
○そのままご使用になれます。

寝かせて使う場合

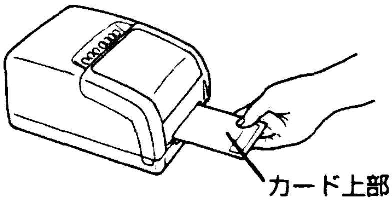
①フロントカバーをはずします。



② 寝かせて使う ボタンを押します。

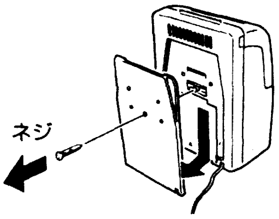


③表示が逆さまになり、手前側からカード挿入しても文字が読めます。

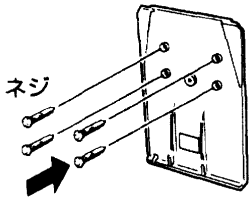


壁に掛けて使う場合

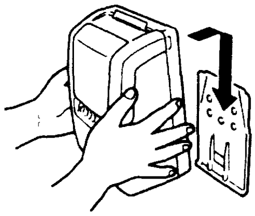
①背面のネジを外し、壁掛け用フックを取り外します。



②付属のネジ4個を使い、壁掛け用フックを壁掛けしたい位置に取り付けます。



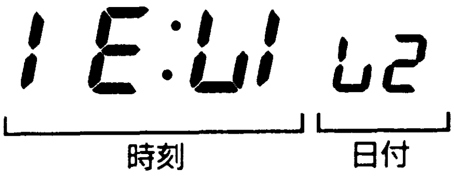
③本体をフックにスライドさせながら取り付けます。



時計画面の表示

●通常表示

● 寝かせて使う ボタンを押すと時計表示が逆さまになり、時計は24H表示になります。
（曜日の表示はしません。）
（もう一度押すともとに戻ります。）



設定のロック

通常時（時計表示中）に 設定開始ボタン ＋ 項目送り ボタン を同時に5秒押し続けます。
設定ロック状態になり、現在時刻・締日・始業・終業・日付変更・西暦年の設定をできなくします。
（画面左下に Ⓢ マークが点灯します。）解除方法は同じ操作です。（ Ⓢ マークが消えます。）

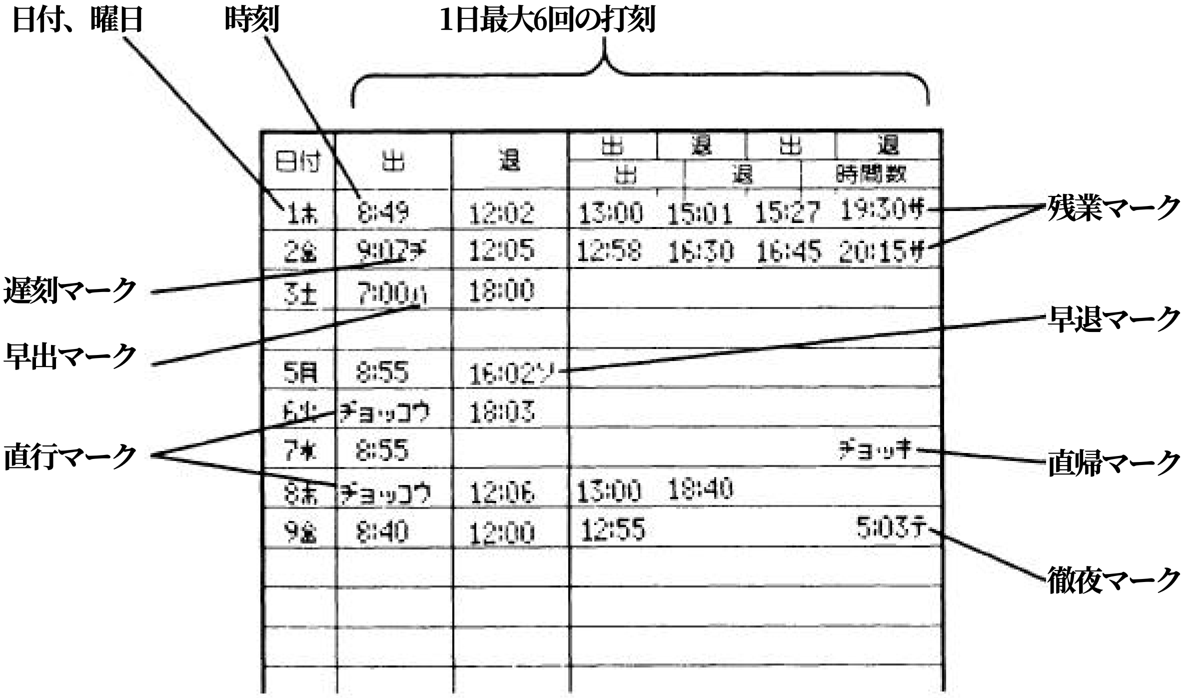
③毎日の使い方

毎日の操作方法

●毎日の出勤、退勤のときは、専用タイムカード「ER－Sカード」を挿入します。
●タイムカードを挿入するだけで日付、曜日、時刻が印字されます。印字欄は自動で選択されます。
● 出勤 外出 再入 退勤 ボタンを押すと印字はボタン操作を優先します。

タイムカードの印字例

●日付・曜日・出勤1・退勤1・出勤2・退勤2・出勤3・退勤3の、1日最大6回の出退勤時刻が打刻できます。
●始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク「チ」、早退マーク「ソ」を印字します。
● 早出/残業 徹 夜 ボタンを押して打刻すると、早出マーク「ハ」、残業マーク「ザ」、徹夜マーク「テ」を印字します。
● 直行/直帰 ボタンを押すと、「チョッコウ」、「チョッキ」を印字します。空欄を見て、機械が判断します。

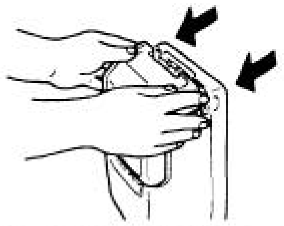


④設定の仕方

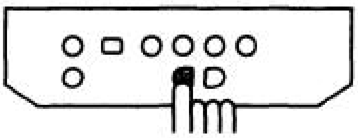
4－1　現在時刻の合わせ方

メモ　●出荷時に現在時刻は設定されていますので改めて設定しなおす必要はありませんが、万一、遅れたりしている時に以下の操作を行なってください。
●時刻は24H表示で入力します。

①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



② 設定開始 を約5秒間押し続けます。
⇒ピッピッピと音が3回鳴り、設定モードに入ります。
（1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります）

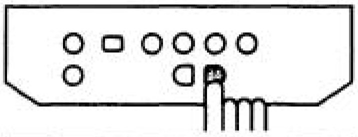


③「時間」のセット
▲数字送り で合わせ、⇒■セット で確定します。
（変える必要がなければそのままセット）
⇒点滅部が「分」に移動します。

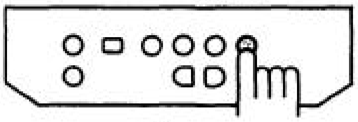
④「分」のセット
▲数字送り で合わせ、⇒■セット で確定します。
⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

⑤時計が歩針を始めます。
（この時セットボタンを押すと、再び00秒から歩針します。）

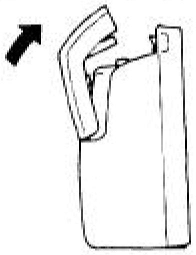
⑥他の設定を続けて行いたい時。
項目送り ボタンで他の設定に移れます。



他に設定がない時。
時計に戻る で時計に戻ります。



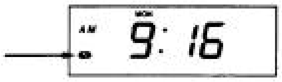
⑦フロントカバーを取り付けます。



設定のロック

●通常時（時計表示中）に 設定開始ボタン ＋ 項目送りボタン を同時に5秒押し続けます。
設定ロック状態になり、現在時刻・締日・始業・終業・日付変更・西暦年の設定をできなくします。
（画面左下に S マークが点灯します。）解除方法は同じ操作です。（ S マークが消えます。）

設定ロック状態

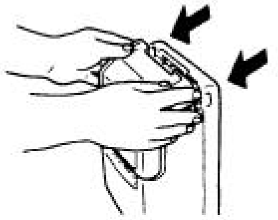


④設定の仕方

４－２　締日の設定

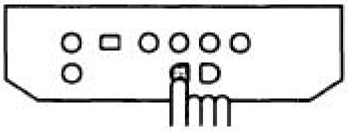
メモ　●「機械本体の初期設定は20日締です。」締日が違う場合は設定が必要です。
●締日が20日のところは設定の必要はありません。
●月末締めの場合は「31」とセットします。

①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



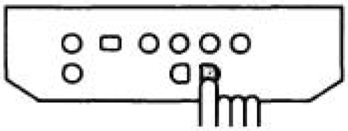
② 設定開始 を約5秒間押し続けます。

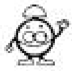
⇒ピッピッピと音が3回鳴り、設定モードに入ります。
（1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります）



③項目の指定。

項目送り ボタンでオレンジのランプを項目の「締日」に合わせます。





他の設定から移ってきた時は、ここから開始となります。

④「締日」のセット。

▲数字送り で「締日」を合わせ、

⇒■セット で確定します。

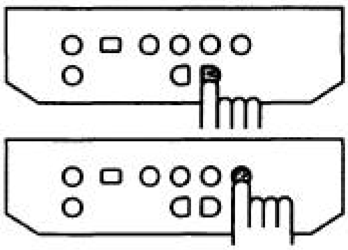
⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

⑤他の設定を続けて行いたい時。

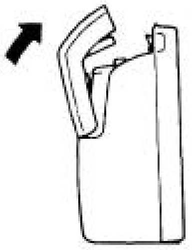
⇒ 項目送り ボタンで他の設定に移れます。

他に設定がない時。

⇒ 時計に戻す で時計に戻ります。



⑥フロントカバーを取り付けます。



ワンタッチ入力

●③の後、出勤 外出 再入 退勤 のいずれかを押すと、以下の値をワンタッチで呼び出せます。確定はその後、⇒■セット を押します。（以下の値以外は通常操作で設定してください。）

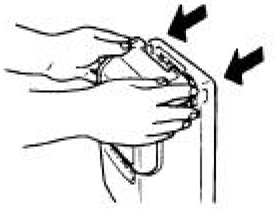
出勤→１０日	外出→１５日	再入→２５日	退勤→月末

例 締日が月末のところは、③の後、退勤 → ⇒■セット で設定終了。

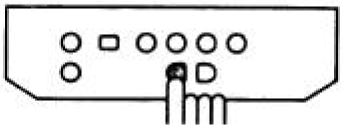
④設定の仕方

４－３　始業時刻の設定

（メモ）始業時刻を設定すると設定された時刻より後の出勤は遅刻と判断され、時刻の後に遅刻マーク「チ」が同時に印字されます。（設定時刻と同時の出勤は、遅刻マークの印字をしません。）

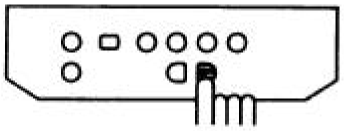


①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



②［設定開始］を約5秒間押し続けます。

⇒ピッピッピと音が3回鳴り、設定モードに入ります。
(1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります)



③項目の指定
［項目送り］ボタンでオレンジのランプを項目の「始業」に合わせます。

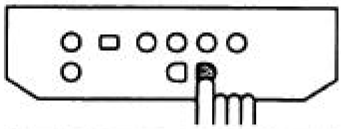
他の設定から移ってきた時は、ここから開始となります。

④「時間」のセット。

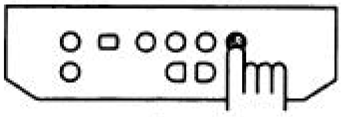
［▲数字送り］で合わせ、［⇒■セット］で確定します。
⇒点滅部が「分」に移動します。

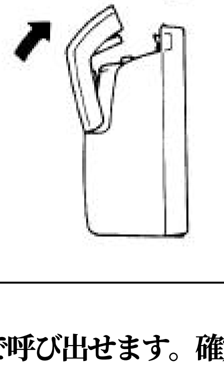
⑤「分」のセット。

［▲数字送り］で合わせ、［⇒■セット］で確定します。
⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



⑥他の設定を続けて行いたい時。
⇒［項目送り］ボタンで他の設定に移れます。
他に設定がない時。
⇒［時計に戻す］で時計に戻ります。





⑦フロントカバーを取り付けます。

ワンタッチ入力

●③の後［出勤］［外出］［再入］［退勤］のいずれかを押すと、以下の値をワンタッチで呼び出せます。確定はその後、［⇒■セット］を押します。（以下の値以外は通常操作で設定してください。）

［出勤→１７：００］［外出→１７：３０］［再入→１８：００］［退勤→１８：３０］

（例）始業が9：00のところは、⑨の後、［出勤］→［⇒■セット］で設定終了。

設定のクリア

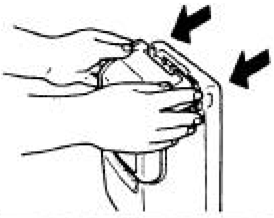
●④、⑤の時［▲数字送り］＋［▼数字戻し］を同時に押すと設定のない状態にもどります。

④設定の仕方

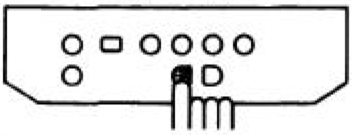
4－4　終業時刻の設定

（メモ）終業時刻を設定すると設定された時刻より前の退勤は早退と判断され、時刻の後に早退マーク「ソ」が同時に印字されます。（設定時刻と同時の退勤は、早退マークの印字をしません。）

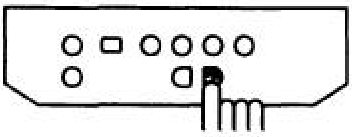
①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

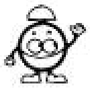


② [設定開始] を約5秒間押し続けます。
⇒ピッピッピと音が3回鳴り、設定モードに入ります。
(1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります)



③項目の指定
[項目送り] ボタンでオレンジのランプを項目「終業」に合わせます。



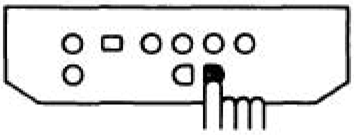


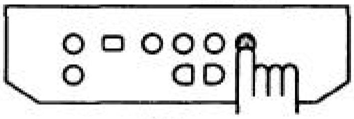
他の設定から移ってきた時は、ここから開始になります。

④「時間」のセット
[▲数字送り] で合わせ、[⇒■セット] で確定します。
⇒点滅部が「分」に移動します。

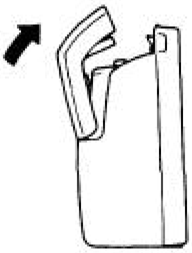
⑤「分」のセット
[▲数字送り] で合わせ、[⇒■セット] で確定します。
⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

⑥他の設定を続けて行いたい時
⇒ [項目送り] ボタンで他の設定に移れます。
他に設定がない時
⇒ [時計に戻す] で時計に戻ります。





⑦フロントカバーを取り付けます。



ワンタッチ入力

●③の後 [出勤] [外出] [再入] [退勤] のいずれかを押すと、以下の値をワンタッチで呼び出せます。確定はその後 [⇒■セット] を押します。（以下の値以外は通常操作で設定してください。）

出勤→１７：００	外出→１７：３０	再入→１８：００	退勤→１８：３０

（例） 終業が17：00のところは、③の後、[出勤] → [⇒■セット] → [⇒■セット] で設定終了。

設定のクリア

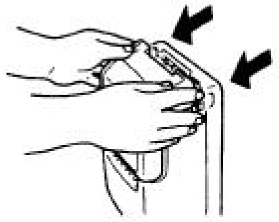
●④、⑤の時 [▲数字送り] ＋ [▼数字戻し] を同時に押すと設定のない状態にもどります。

④設定の仕方

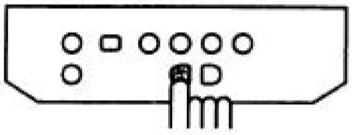
4－5　日付変更時刻の設定

メモ
●設定される時刻は タイムレコーダ上の日付が変わる時刻です。（印字の行を変える時刻。）
この時刻をまたいで働くと出勤の行より1行下に退勤が打刻されます。
●「機械本体の初期設定は午前3時です。」午前3時をまたいで働かれる方がいないところでは、設定を変える必要はありません。
●24時間営業のところなどで、日付変更時刻をまたいで働く人が退勤時に [徹夜] ボタンを押して打刻すると、出勤と同じ行に退勤が打刻されます。

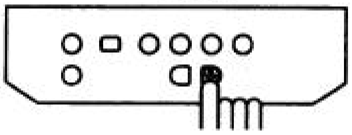
①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

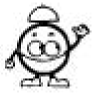


② [設定開始] を約5秒間押し続けます。
⇒ピッピッピと音が3回鳴り、設定モードに入ります。
（1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります）



③項目の指定。
[項目送り] ボタンでオレンジのランプを項目「終業」に合せます。



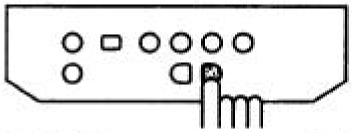


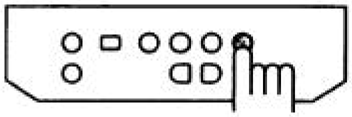
他の設定から移ってきた時は、ここから開始となります。

④「時間」のセット。
[▲数字送り] で合わせ、[⇒■セット] で確定します。
⇒点滅部が「分」に移動します。

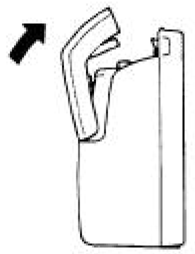
⑤「分」のセット。
[▲数字送り] で合わせ、[⇒■セット] で確定します。
⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

⑥他の設定を続けて行いたい時。
⇒ [項目送り] ボタンで他の設定に移れます。
他に設定がない時。
⇒ [時計に戻す] で時計に戻ります。





⑦フロントカバーを取り付けます。

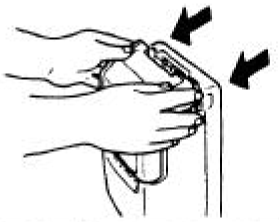


④設定の仕方

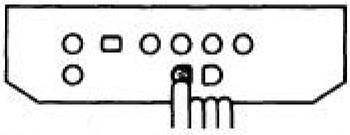
4－6　西暦年月日の設定

(メモ) 工場出荷時に西暦年・月・日は設定されていますので、改めて設定する必要はありません。

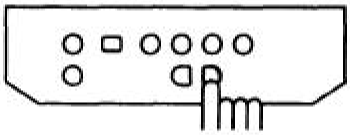
①フロントカバーをはずします。
　倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

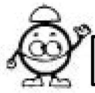


② 設定開始 を約5秒間押し続けます。
　⇒ピッピッピと音が3回鳴り、設定モードに入ります。
　(1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります)



③項目の指定。
　項目送り ボタンでオレンジのランプを項目「年月日」に合わせます。



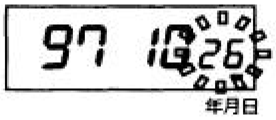


他の設定から移ってきた時は、ここから開始となります。

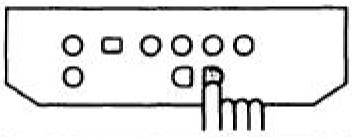
④「西暦年」のセット。
　▲数字送り で合わせ、 ⇒■セット で確定します。
　(2000年は00とセットします)
　⇒点滅部が「月」に移動します。

⑤「月」のセット。
　▲数字送り で合わせ、 ⇒■セット で確定します。
　⇒点滅部が「日」に移動されます。

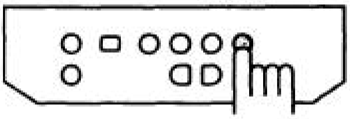
⑥「日」のセット。
　▲数字送り で合わせ、 ⇒■セット で確定します。
　⇒ピッピと音が2回鳴り設定されます。



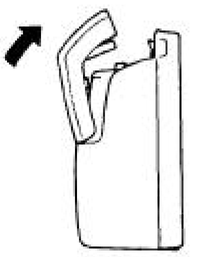
⑦他の設定を続けて行いたい時。
　⇒ 項目送り ボタンで他の設定に移れます。



他に設定がない時。
　⇒ 時計に戻す で時計に戻ります。



⑧フロントカバーを取り付けます。



⑤名前の登録方法

説明　準備　文字コード表

説明

名前の登録は、1人につき10文字、20人まで登録できます。「ひらがな」をコード番号で登録します。

準備

①まず、登録したい名前を付属の名前登録シートの表に書き入れます。

登録番号	1									
文字桁	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
名前	ひ	ろ	せ		つ	と	む			
文字コード										

名前を書き入れる

②次に、文字コード表を見て、個々の文字コード番号を書き入れます。

登録番号	1									
文字桁	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
名前	ひ	ろ	せ		つ	と	む			
文字コード	62	95	34	00	43	45	73			

コードを書き入れる

スペースは００

文字コード表

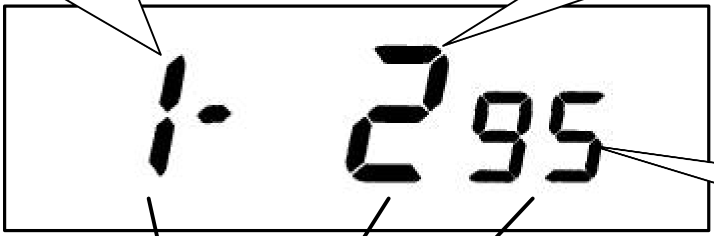
十の位 ＼ 一の位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ 11	い 12	う 13	え 14	お 15	ぁ 16	ぃ 17	ぅ 18	ぇ 19	ぉ 10
2	か 21	き 22	く 23	け 24	こ 25	が 26	ぎ 27	ぐ 28	げ 29	ご 20
3	さ 31	し 32	す 33	せ 34	そ 35	ざ 36	じ 37	ず 38	ぜ 39	ぞ 30
4	た 41	ち 42	つ 43	て 44	と 45	だ 46	ぢ 47	づ 48	で 49	ど 40
5	な 51	に 52	ぬ 53	ね 54	の 55					
6	は 61	ひ 62	ふ 63	へ 64	ほ 65	ば 66	び 67	ぶ 68	べ 69	ぼ 60
7	ま 71	み 72	む 73	め 74	も 75	ぱ 76	ぴ 77	ぷ 78	ぺ 79	ぽ 70
8	や 81		ゆ 83		よ 85	ゃ 86	っ 87	ゅ 88	ゎ 89	ょ 80
9	ら 91	り 92	る 93	れ 94	ろ 95					
0	わ 01	を 02	ん 03	ゐ 04	ゑ 05					スペース 00

⑤名前の登録方法

登録方法

登録番号（1～20番）を表します。
▲数字送り ▼数字戻し で合わせます。

文字桁（1～10文字目）を表します。
項目戻し 項目送り で合わせます。



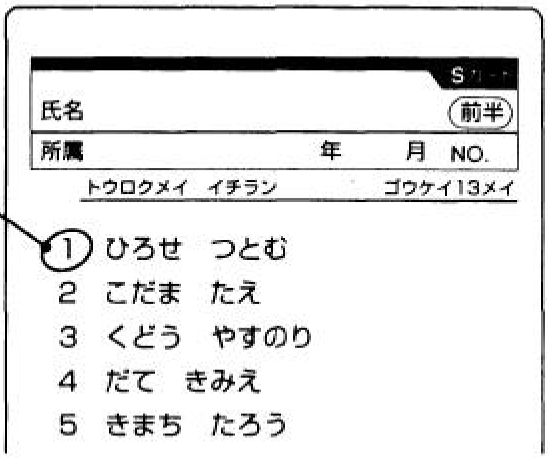
登録する文字コード番号を表します。
▲数字送り ▼数字戻し で合わせます。

登録番号	1									
文字桁	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
名前	ひ	ろ	せ		つ	と	む			
文字コード	62	95	34	00	43	45	73			

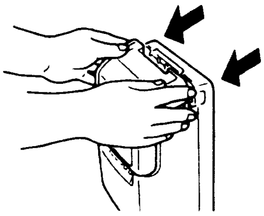
メモ 登録番号（1～20番）は、登録名一覧を印字した時に、下記の場所に印字されます。

参考 P. 20

登録番号

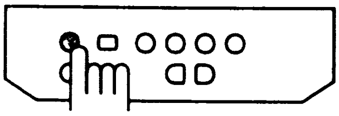


①フロントカバーをはずします。



②名前登録ボタンを押します。

→ピッと音が鳴り名前登録画面に変わります。
（1分以上何も押さないと自動的に時計に変わります）



⑤名前の登録方法

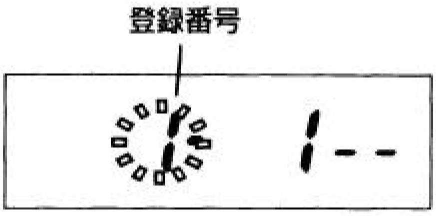
登録方法

例えば「ひろせ　つとむ」を登録したい

③どの登録番号に入力するか決めます。

▲数字送り で登録番号（1〜20）を選び、

⇒■セット で確定します。



③ここを入力中

登録番号	1			
文字桁	1	2	3	4
名前	ひ	ろ	せ	
文字コード	62	95	34	00

文字コードの入力に移ります。
（1文字目からスタート）

④1文字目の文字コードを入力します。

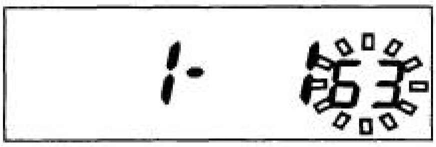
▲数字送り で文字コード（00〜95）を選び、

⇒■セット で確定します。

前の文字桁に戻したいときは 項目戻し
後の文字桁に送りたいときは 項目送り

登録番号	1			
文字桁	1	2	3	4
名前	ひ	ろ	せ	
文字コード	62	95	34	00

④1文字目を入力中



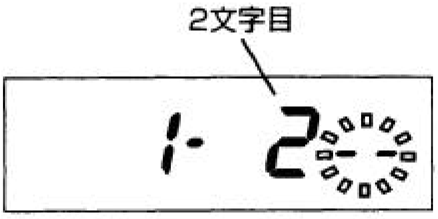
入力が済むと、2文字目の入力に移ります。

⑤2文字目の文字コードを入力します。

▲数字送り で文字コード（00〜95）を選び、

⇒■セット で確定します。

前の文字桁に戻したいときは 項目戻し
後の文字桁に送りたいときは 項目送り



登録番号	1			
文字桁	1	2	3	4
名前	ひ	ろ	せ	
文字コード	62	95	34	00

⑤2文字目を入力中

以後、同じ要領で文字を入力していきます。
スペースを開けるときは、コード番号00を入力します。

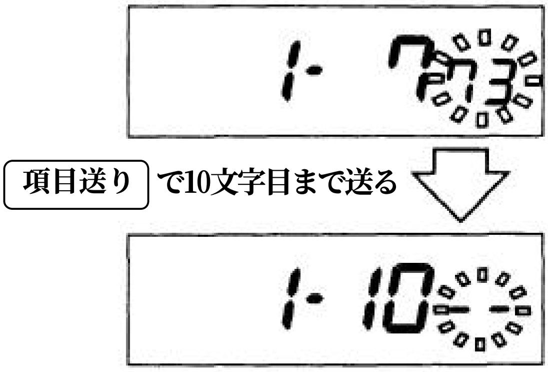
⑤名前の登録方法

登録方法 つづき

登録方法

⑥登録を完了します。
最後の文字の入力が完了したら 項目送り で文字桁10まで飛ばし、⇒■セット で確定します。

10文字目に登録文字がなくても、この例の様に——でセットします



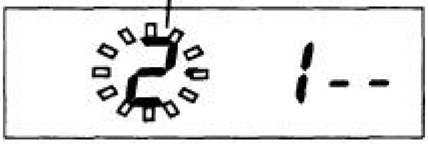
5	6	7	8	9	10
つ	と	む			
43	45	73			ｾｯﾄ

入力する文字がなければ、項目送り で飛ばす

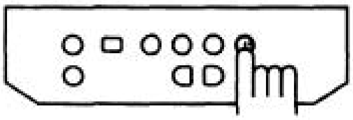
10文字目で必ず
ボタンを押してください。

以上で「ひろせ　つとむ」の登録は終わりです

⑦続けて、次の人の登録をします。
10文字目で ⇒■セット を押すと、自動的に次の登録番号に移り、次の人の登録状態になります。



⑧登録を終ります。
時計に戻す を押します。



入っている登録を消したい場合

●③から⑦のいずれかの状態で ▲数字送り ＋ ▼数字戻し 同時押しを3秒間続けると、その登録番号に入力されているデータが消されます。

例　登録番号3の人がやめたのでデータを消したいときは、①のとき ▲数字送り で登録番号3まで飛ばし、▲数字送り ＋ ▼数字戻し を同時に3秒間押します。

名前の印字を行なう場合は、⑥名前の印字方法（次のページ）を読んでください。

⑥名前の印字方法

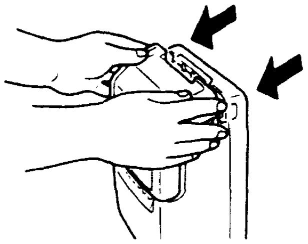
説明　操作方法

説明

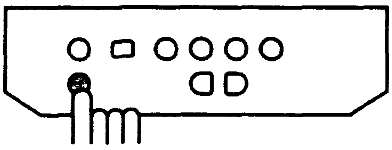
●指定された登録番号に入力されている名前、登録番号と指定した年月をタイムカードに印字します。指定された番号に登録がない場合はエラー（E—09）表示となります。
また、年月印字のみを行いたいときは、登録番号を0と指定します。

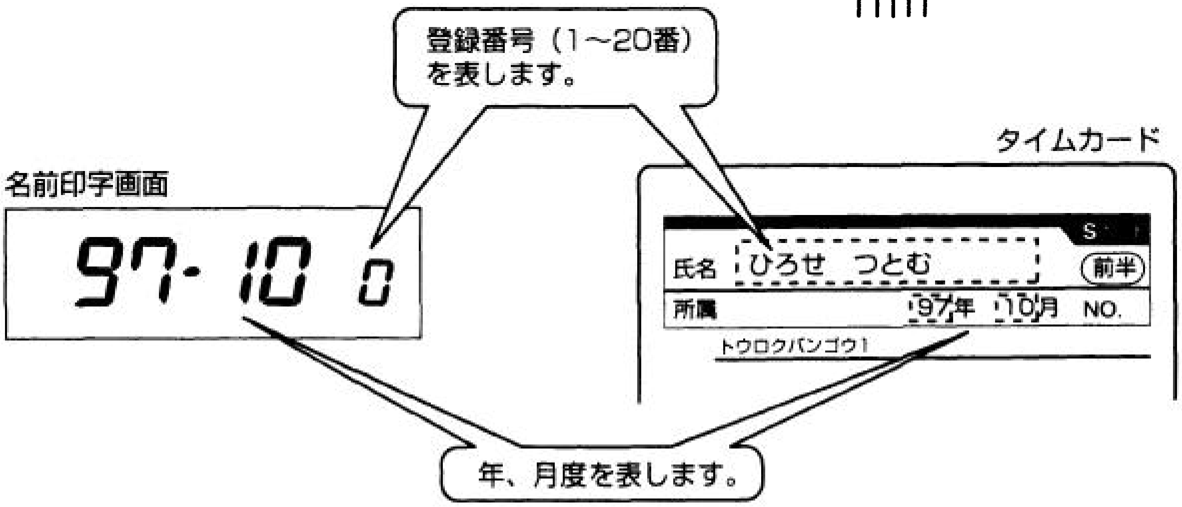
操作方法

①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

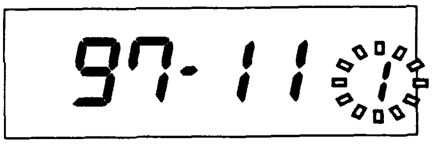


② 名前印字 を約2秒間押し続けます。
⇒ピッと音が鳴り、名前印字画面に変わります。
（1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります）

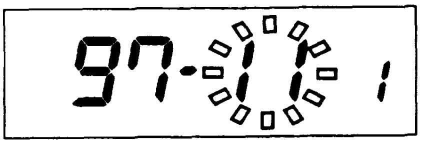




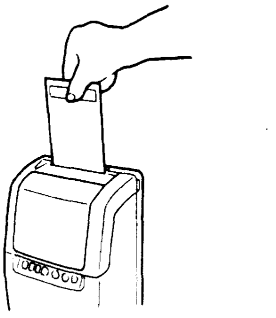
③印字する名前を登録番号で指定します。
▲数字送り ▼数字戻し で登録番号を前後できます。
年月のみ印字したい場合は、0にします。



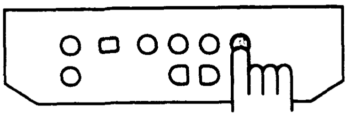
印字する月度を指定します。
項目送り 項目戻し で月を前後できます。



④タイムカードに印字します。
指定ができたら、タイムカードを挿入します。
表面、裏面、印字しましょう。



⑤他の人の印字を続けて行いたい時。
⇒⑨の操作をします。
作業終了の時。
⇒ 時計に戻す で時計に戻ります。



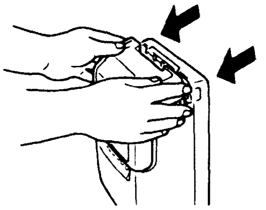
⑦登録一覧リポート

説明　操作方法

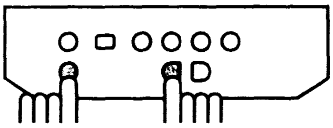
説明

1、登録されている名前一覧をタイムカードに印字します。カード1面に10人まで印字できます。
　10人以上の登録がある場合はカードの裏面、または別のカードに続けて印字してください。
2、また、文字コード表の印字もできます。

操作方法



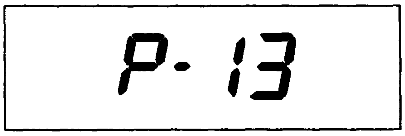
①フロントカバーをはずします。
　倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



② 名前印字 ＋ 設定開始 を同時に3秒間押します。

⇒ピッと音が鳴り、リポート画面に変わります。
（1分以上何も押さないと自動的に時計に戻ります）

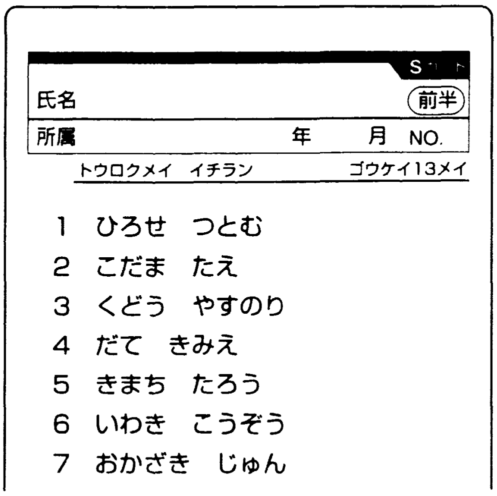
リポート画面



登録されている人数が表示されます。
（右の例では、13人の登録があることになります。）

1. 登録名一覧を印字する

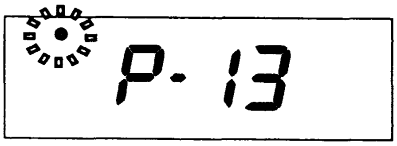
③タイムカードを挿入します。
　登録名を一覧印字します。
　カード1面に10人まで印字できます。
　10人以上の登録がある場合はカードの裏面、
　または別のカードに続けて印字してください。



④全ての印字が終わると自動的に時計に
　戻ります。

2. 文字コード表を印字する

③画面左上に◎を点灯させます。
　項目送り を押して◎を点灯させます。



④タイムカードを挿入します。
　文字コード表を印字します

⑤作業終了の時。

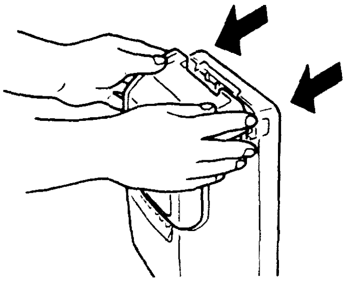
⇒ 時計に戻す で時計に戻ります。

⑧インクリボンの交換方法

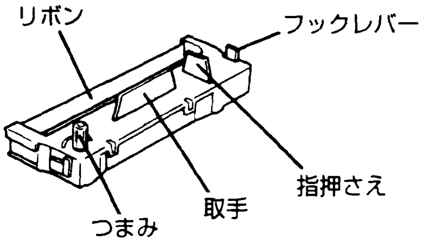
印字がうすくなったら早めに専用インクリボン・ER－IR101（別売）と交換してください。
＊インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダをお買い上げになったお店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

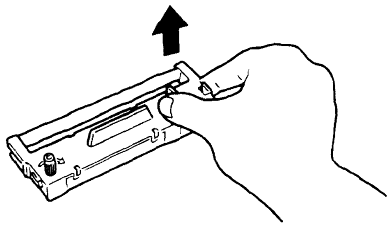
⚠ 注意	
	●プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。
	●インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。
	●インクリボンの交換の際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。

①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

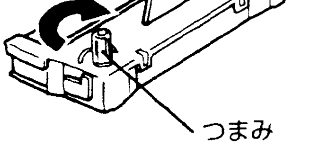


②リボンカセットの「指押さえ」と「フックレバー」を右手の親指と人差し指ではさみ、そのまま持ち上げます。次に「取手」を左手でつまんで持ち上げ、インクリボンを取り外します。



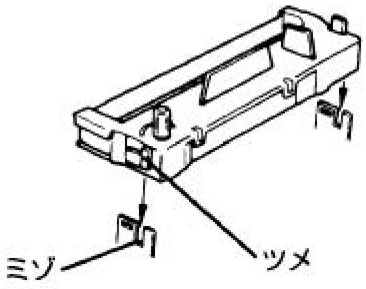


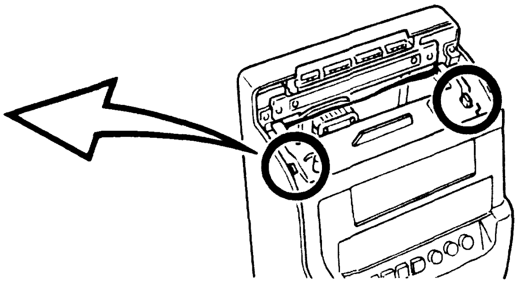
③新しいリボンカセットを取りだし、「つまみ」を矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。
（エンドレスリボンです。たるみを取るために巻き取った部分も使えます。ピンと張るまで充分に巻いてください。）



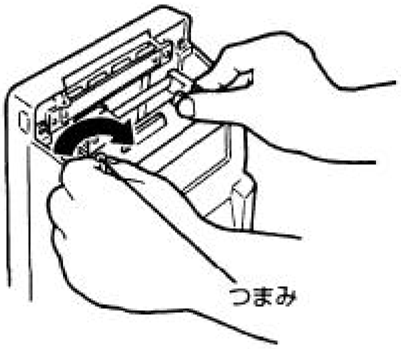
⑧インクリボンの交換方法

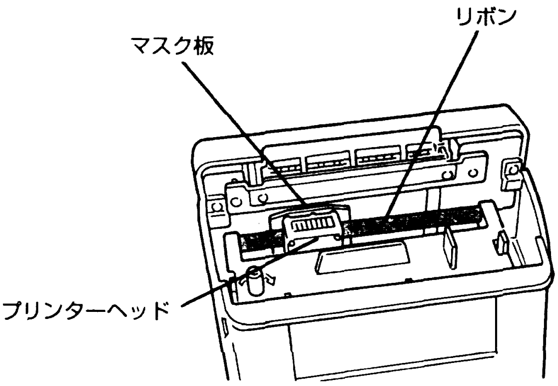
④リボンカセットの左右両側面の「ツメ」を本体のカセット台の「ミゾ」に合わせます。



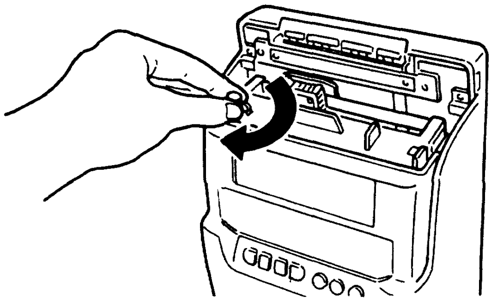


⑤リボンカセットの「つまみ」を回しながら、「リボン」が「プリンターヘッド」と「マスク板」の間になるよう、カチッと音がするまで押しつけます。（きちんとセットされていないとリボンが送られない場合があります。）

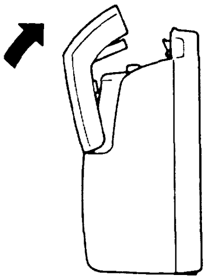




⑥リボンカセットのつまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。この時、リボンが正しくセットされているか、リボンのねじれがないか確認してください。



⑦フロントカバーを取りつけます。



⑧電源コードを差し込み、未使用のタイムカードを入れて印字が正常であることを確認してください。

⑨こんな時は

故障と思われる前にご確認ください。

現象	チェック方法	処置
カード印字しない	インクリボンを正しくセットしていますか	インクリボンを正しくセットしてください
タイムカードが入らない	カードの曲がり、破損はないですか	新しいカードをご使用ください
カードが入ったまま出てこない	印字途中、電源コードが抜かれていませんか	電源コードを抜き、差し込み直してください
印字する段がずれる	印字中に押し込んだり、ひっぱったりしていませんか	カードは自動送りされますので軽く差し込んでください
印字がうすい	インクリボンを永く使っていませんか	インクリボンを新しいものと交換してください

●以上の処置を行っても、正常に復帰できない場合は、お買い上げ店またはお近くのマックスサービス㈱窓口まで、ご相談ください。

⑩エラー一覧

カード操作中に、エラー音（ピッピッピッピッ）が鳴りエラー表示をします。
エラーコードを確認して処置を行ってください。

エラーコード	内　容	処　置
E－００	自動送りされる位置まで、タイムカードが入っていない	タイムカードが自動送りされるまで、軽く押し込んでください
E－０１	カードの表裏上下が間違っている	カードを正しい向きで入れてください
E－０２	パンチ穴が正常に読めない	カードが自動送りされたら、手を離してください。カードの曲がりなどがないか確認してください
E－０４	すでに退勤打刻が終了しています	
E－０５	本日の使用人数が150名を越えています	
E－０９	該当する登録番号に登録がない	登録番号を確認してください
E－６９	自動送りされても、カードがスムーズに入っていかない	カードが自動送りされたら、手を離してください。カードの曲がりなどがないか確認してください
E－ＥＥ	プリンター異常	電源プラグを抜き差ししてください

⑪商品仕様

商　品　名	ER－220S
電　　　源	AC100V　50／60Hz
外 形 寸 法	240（H）×175（W）×120〈D〉mm
重　　　量	2．2Kg
消 費 電 力	通常4．5W　最大35W
時 計 機 構	水晶発振式
表　示　管	蛍光表示管
表 示 内 容	日付、曜日、時分、AM／PM
印 字 方 式	インパクトドット方式
印 字 内 容	日付、曜日、時分、（チ）、〈ソ〉、（ハ）、（ザ）、（テ）、（チョッコウ）、（チョッキ）、（トウロクバンゴウ）、ひらがな
メモリー保持	工場出荷時より停電累計5年間
使 用 人 数	最大150人（内20人は名前登録が可能）
タイムカード	専用カード「ER－Sカード」
インクリボン	専用インクリボン「ER－1R101」
使 用 温 度	0℃～40℃
保 存 温 度	－20℃～60℃

⑫保証書とアフターサービス

保証書について

●保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスサービス㈱窓口にご相談ください。修理によって機能が維持出来る場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
●お客様登録カード：お買い上げ後、必ずお客様登録カードをお送りください。当社のサービス台帳にお客様の名前が登録され、同時に保証書も有効になります。

アフターサービスについて

●お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス㈱にご相談ください。
●出張修理：サービスマンを派遣し料金はその都度お支払いいただきます。
（地域によって出張出来ない所もありますので、当社営業所またはマックスサービス㈱にご相談ください。）
修理代（技術料＋部品代）に出張料をプラスしてご請求申し上げます。
●持ち込み修理：修理品を販売店、またはマックスサービス㈱の窓口にお持ち込みください。